

令和元年度（2019年度）北海道アウトドア資格制度推進会議 議事要旨

- 【日時】 令和元年(2019年)5月21日(火) 10時10分から11時30分まで
【場所】 道庁本庁舎 9階 経済部会議室
【出席者】 大森座長、笹本委員、黒田委員、金本委員、斉藤委員、阿久澤委員
[資格制度業務センター(一般社団法人 北海道体験観光推進協議会)]
坂本代表理事、伊藤専務理事
[事務局(北海道経済部観光局)]
磯部参事、長山主幹、杉浦主査、西尾主任

【議事】

(1) 北海道マスターガイド認定要領の一部改正について

- 委員より意見なし。
- 改正案のとおり「北海道マスターガイド認定要領」を改正。

(2) 北海道におけるアドベンチャートラベルの取組について

●意見等

- 国内の観光客を案内するガイドが不足しているのが現状。さらに、外国人観光客に対応するガイドを雇い入れることは、難しく感じている。道主導でこの資格制度をアピールして、有資格者のガイドの社会的水準・価値を高めていけば、人材も集まりやすくなるのでは。
- サミットの誘致に向けた動きは、大変喜ばしく、この業界で少しでもお客さんが増えてほしいという思いはあるが、2年後までに受入体制をどれだけ整備できるかが課題。
- ガイドの数を増やすためには、職業として成り立たせていくベースをしっかりとさせるための支援が必要。まずはガイドの量を増やし、そこから質を高めていく。北海道の体験観光のこれからをどうしていくのか、その根底の議論をするべき。
- 北海道のアウトドア資格制度を、アドベンチャートラベルという新しい波と、どのように融合させていくのか。道庁がリーダーシップを発揮して進めていただきたい。
- アドベンチャートラベルが、どのような客層なのかが全く見えない。サミットに参加する方がどういう客層なのかという情報も下ろしてもらえたら、それにマッチするような形のツアー企画をそれぞれのフィールドで動いているガイドが作りやすい。
- 海外の旅行者は思いがけない行動に出られるのではといった心配があり、経験のある方のお話を参考に準備していきたい。準備ができていない中で、アドベンチャートラベルという大きな流れがきてしまうことに不安を感じる。
- アウトドア資格制度推進及びアドベンチャートラベルを取り組むための課題はわかっているのに、どう解決していいかわからないのが課題。これをどう解決していくのかを次のステップとして取り組んでいき。2021年度のサミットに向けていけば、より北海道の地位が上がっていくのではないかと。